



# 嶺 鶴

令和7年6月30日  
大田区南久が原 2-17-1  
電話 (3750)2260  
FAX (3750)2280

## 大田区の独自教科「おおたの未来づくり」

大田区立東調布第三小学校  
副校長 星 淳司

大田区では、将来の予測が困難な時代において、より良い社会を築いていくために、自らが主体的に様々な課題に向き合い、他者と協働し、解決していくことが必要だと考え、独自教科「おおたの未来づくり」を創りました。そこで、本校では4月から「おおたの未来づくり」の学習をスタートさせ、5年生は、新たな価値を創造する「ものづくり」、6年生は、地域社会の課題を解決する「地域創生」をテーマに学習を進めています。

5年生は、「パルシステム」と連携をしてバケツ稲を育てています。「米作り」を通して、自分たちで課題を見付け、解決を目指していきます。6年生は、鶴の木特別出張所、鶴の木東町会、鶴の木西町会、南久が原一丁目町会と連携して、本校学区域を中心としたまちの魅力向上を目指していきます。これらの学習を通して、こどもたちに課題解決力や新たな価値を創造する力を身に付けさせていきます。そのために本校の教員は「未来社会を創造的に生きる児童の育成」をテーマにおおたの未来づくり科について研究を深め、授業力の向上を目指していきます。

5月の学校公開には、大勢の保護者の方に御参観いただき、ありがとうございました。保護者の皆様には、今回の公開を通して、こどもたちの成長を感じていただけたらうれしいです。また、アンケートの御協力もありがとうございました。自由意見の一部をご紹介します。とても心温まるお言葉ばかりで、とても励みになります。引き続き、教育活動を充実させていき、こどもたちの力を伸ばしていきます。

### 【学校公開アンケート「自由意見」より】

○こどもたちを飽きさせない工夫された授業でとても楽しそうな様子を見ることができました。親子で受けたい素晴らしい授業でした。

○先生がこどもたちのノートをよく見て、褒めたり、もう少し頑張ろうなど声をよく掛けていらっしゃる様子でこどもたちが安心して見られました。